

Hondaの交通安全情報紙



Since 1971



～ Safety for Everyone ～
Hondaはすべての人の
交通安全を願い活動しています。



●編集室：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL 03(5412)1736
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/
●編集人：千葉英雄
※年間購読をご希望の方は、下記までお問い合わせください。
(株)アストクリエイティブ 安全運転普及本部係
TEL 03(5439)1191 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

SJホームページは

CONTENTS

- 特集：高齢者への交通安全教育
楽しみながら学んでいただくことにより
意識を変化させ、安全行動の実践へ導く……①
- 教育最前線／高等学校における自転車安全指導研修会……④
- NEWS REVIEW①／文部科学省
②／第45回二輪車安全運転全国大会……④
- 現場訪問／城北信用金庫……⑤
- TOPICS①／Hondaおもしろツーリング&二輪車安全運転実技講習会
in 夕張 石炭の歴史村 ②／南会津地区親子交通安全教室
③／九州・山口地区交通安全指導者情報交換会……⑤
- STREAM／熊本県での高校生交通安全教育活動 第2回……⑥
- 危険予測トレーニング(KYT)／前方の四輪車が左折しようとしている時(二輪車)……⑦
- 指導者ファイル／岡山市・交通指導員の皆さん……⑦
- SJクイズ……⑦
- DOCUMENT EYE ⑧／朝の通勤時間帯に幹線道路を走行する二輪車を
観察する……⑧

特集：高齢者への交通安全教育

楽しみながら学んでいただくことにより
意識を変化させ、安全行動の実践へ導く

平成23年の交通事故死者数を年齢層別にみると、高齢者(65歳以上)が2262人と最も多く、半数近くを占めている。その内訳を状態別にみると、歩行中が約50%、自動車乗車中が約25%、自転車乗用中が約17%となっている。こうした状況の中、高齢者への交通安全教育はどうあるべきか、警察庁による調査の報告書や各地域で展開されている事例をもとに探る。



警察庁では、平成22年度から2ヵ年
にわたり、「高齢歩行者・高齢自転車乗
用者対策の充実のための調査」を実施。
今年3月、その報告書がまとまり、警
察庁のホームページで公開されている。
この調査を実施した背景を、長嶋良・
警察庁交通局交通企画課交通安全企画
官は次のように語る。

「近年、交通事故死者数の約半数は高
齢者で、その多くは歩行者、自転車乗
用者が占めています。第9次交通安全
基本計画の目標である『平成27年まで
に24時間死者数を3000人以下』を
達成するためには、高齢歩行者・高齢
自転車乗用者への対策が不可欠です。
今後の高齢歩行者・高齢自転車乗用者

への有効な
交通安全教
育の手法を
提言するた
めに、この
調査を行い
ました。



長嶋良・警察庁交通局交通企画課交通安全企画官

たつては、
「高齢歩
行者・高齢自転車乗用者対策の充実のた
めの調査検討委員会」を設置し、1年
目には文献・交通事故分析調査、高齢
者や事故当事者へのアンケート調査、
専門家へのヒアリング調査等を行い、
高齢歩行者・高齢自転車乗用者の交通

事故の要因や、高齢者に対する交通安
全教育上の問題点を抽出。2年目は、
1年目の調査で抽出された課題の解決
に向け、海外調査や国内調査により、
具体的な取組み事例等の整理・検討を
行った。

**高齢者は自分の判断を
優先する傾向がある**

今回の調査の特徴の1つとして、長
嶋交通安全企画官は事故当事者の認識
と警察官の事実認定とのギャップ(一
致率)を分析したことを挙げる。

「1年目の調査において、歩行中また
は自転車乗用中に何らかの法令違反を
して交通事故に遭った人に、当該事故
の実態とその認識を把握するためのア
ンケートを実施しました。加えて、警
察官による事実認定も別途調査し、比
較しています」。

質問内容は「事故の原因となった自
己の違反行動」「違反行為をした理由」
「不注意の度合い」など。報告書によれ
ば、「事故の原因となった自己の違反行
動」については、高齢歩行者は横断方
法の法令遵守よりも、自分の判断(安
全だとの思い込み)を優先する傾向が
あり、一方、自転車乗用者では高齢
者・非高齢者ともに車両運転者として
の自覚が不足しており、特に高齢者で
は周囲の安全確認を怠る傾向が強く見
られるという。

「違反行為をした理由」については、
歩行者、自転車乗用者ともに、周囲の
安全をきちんと確認せずに行動して事
故に遭った高齢者は、相手方に譲って
もらうことを期待する意識が高いこと
が推察されると結論づけている。この
他、「不注意の度合い」では、歩行者よ
りも自転車乗用者のほうが、より自分
の責任を過小評価する傾向が示された。

2年目の調査では、「教育内容の充実」
「参加者の確保」という観点から、海外
(イギリス、オランダ、ドイツ) および
国内での具体的な取組み事例を整理・
検討。高齢者の行動とその心理的な背
景を諸外国と比較したり、国内外の効

茨城県茨城町の長生大学での「いきいき運転講座」(2面参照)を活用
した交通安全教育。高齢者がインストラクターの話だけでなく、
脳トレやグループ討議を行うプログラムになっている



※1 報告書は以下の警察庁ホームページよりダウンロードが可能。 ●「本文」http://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku20120402/honbun.pdf ●「参考資料」http://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku20120402/sansyo.pdf

※2 高齢歩行者・高齢自転車乗用者対策の充実のための調査検討委員会委員は、春日伸予・芝浦工業大学工学部共通学群教授(座長)、佐熊とよ子・一般社団法人東京母の会連合会理事、中西盟・一般社団法人日本自動車工業会交通安全委員会交通安全部委員、西田泰・警察庁科学警察研究所交通科学部長、溝端光雄・首都大学東京大学院客員教授 (注) 役職は当時

果的な教育プログラムの内容、参加への動機付けの工夫をまとめている。

高齢者への教育を充実させるための提言

報告書では、最後に次の3つの提言を行っている。

- 提言1** 交通安全教育の参加者を確保する
- 提言2** 法令遵守行動の動機付け及び実践すべき行動の理解のための教育内容を工夫する
- 提言3** 交通安全教育を継続的に受講する仕組みを作る

「提言1」では、高齢者がゲーム感覚で自ら考え教育に参加していると実感させることで、娯楽的な効果のみならず主体性の増進につながるとしている。また、受講者証などの配付や一般人が入ることができない警察施設の見学など、物質的・精神的特典や参加したくなるインセンティブ(励み)の必要性などについても言及している。

「提言2」では、高齢者の交通事故・行動実態の国際比較や、健康につながる安全行動等、高齢者が認知していない、あるいは関心の高い情報を提供し、強い動機付けを行うことが求められている。そして、動機付けは、知的好奇心を満たしたり自ら立てた目標を達成する喜びを感じたりすることができ、「内発的動機付け」と、表彰制度等の「外発的動機付け」とを組み合わせて有効であると述べている。

「提言3」では、交通安全教育の効果が時間経過により薄れることを考慮し、高齢者に繰り返し受講してもらう(リピーターとさせる)ことも必要であるとしている。そして、取組みの継続性を担保するために、多様な地域組織との連携を仕組みとして取り入れることが求められている。

「この3つの提言は、どの地域においても実現が可能であると思っています。今回の調査では、全国各地で高齢者への交通安全教育が積極的に行われていることが明らかになりました。そこに少しの工夫を加えることで、さらに多くの方々に効果的な教



「いきいき運転講座」の「交通安全トレーニング」の1つ「自分の運転を振り返る」。映像を見て感じたことなどを、インストラクターが質問しながら対話形式で進められる。

育ができるということ。この報告書には各地域での様々なノウハウを掲載している。現場で指導にあたっている方々には参考になる点が多いと思います」と長嶋交通安全企画官は話す。

脳を活性化させながら交通安全を学ぶ

今回の警察庁による「高齢歩行者・高齢自転車乗用者対策の充実のための調査」の中に取り上げられている好事例の1つが、一般社団法人日本自動車工業会(以下、自工会)の高齢者向け交通安全教育プログラム「いきいき運転講座」である。4つの「交通安全トレーニング」と、「交通脳トレ」を組み合わせてることによって、効果的に安全運転能力や安全意識、脳機能を高めることができる内容になっている。そして、ドライバーだけでなく、運転免許のない高齢者も自転車、歩行者、助手席同乗者の立場から参加することができる。また、リーディング教材として、講座の進行を行うためのマニュアル(台本)も用意されているので、地域の指導者や高齢者自身が自分たちの力で講座を進行することも可能になってい

る。

自工会では今年度、茨城県内における交通事故死者数低減のため、会員各社および関連団体等と連携をとりながら、高齢者への交通安全教育やキャンペーンを展開している。その一環として7月17日、茨城県茨城町が茨城県信用組合研修センターで開催している「長生大学」で、この「いきいき運転講座」を活用した交通安全教育が行われた。「長生大学」は茨城町教育委員会生涯学習課が主催するもので、同町の高齢者(65歳以上)に新しい学習の場を提供することを目的に毎年9回実施され、7月のテーマは交通安全である。今回の指導は自工会のインストラクターが担当し、高齢者73名が受講した。

左参照)。文字を探すトレーニングは、危険を予測する時に働く脳を活性化させることがわかっている。受講者は違う種類の文字や数字、記号が散らばっている中から、指定された文字10個に○をつけていく。完了した受講者には挙手してもらう。早い人は8秒、遅い人でも20秒だった。「今日、いらしてる皆さんは優秀ですね」とインストラクターが言うと、受講者は笑顔になり、緊張感もほぐれていくようであった。第2問は計算問題。やさしい計算問題をすばやく解くことで、脳をもっとも効率的に活性化できることがわかっており、難しい問題を解くことよりも脳を活性化させるそうだ。

他者の交通行動を見て自己評価を行う

次に、「交通安全トレーニング」の1つ「自分の運転を振り返る」。ある交通場面をビデオ撮影した映像を受講者に見てもらい、映像を見る前と見た後で、受講者には、同様の交通場面で自分だったら、どのような運転をするか、自己評価(100点満点で採点)してもらい、これは、他者の運転を見て、受講者に自分の姿を正しく評価する能力を身につけてもらうことを目的としている。

この日のテーマは「信号機のない交差点の通過(四輪車)」。「止まれ」の標識がある交差点を通過していくクルマの様子がス

クリーンに映し出される。15台のクルマが通過するが、停止線の手前で一時停止して安全確認をしていると思われるクルマは1台もいなかった。

映像が終わり、インストラクターが受講者に感想を聞いていくと、「誰も止まらなかったのには驚いた」「自分も停止線で止まらず、歩道まで行ってしまおう」といった声がかかれた。続けて、「では、なぜクルマは止まらないのでしょうか?また、止まらなと、どのようなことが起こると考えられますか?」と問いかけると、「誰も通っていないだろう、相手が止まってくれらるだろう、と考えているから」「止まらなと、歩行者や自転車とぶつかってしまう」と受講者が答える。

「映像に登場した信号機のない交差点は、クルマ同士やクルマ対自転車の出会い頭事故が起きやすい場所です。出会い頭事故を防ぐために、一時停止標識のある交差点では必ず止まって安全確認しなければいけないことがわかったと思います」とインストラクターが締めくくった。このように、「いきいき運転講座」は受講者同士で意見を発表したり、その意見を聞くという形式で進行する。その中で、受講者が話し合いながら答えを導き出してもらうことがねらいなのである。

※3 「いきいき運転講座」の教材は以下の自工会ホームページからダウンロードが可能。http://www.jama.or.jp/safe/safety_elderly/

知っ得情報

出かける前の三ポン

「出かける前の三ポン」は、運転中のブレーキとアクセルの踏み間違いを防止するためのトレーニング。家の駐車場からクルマを発進させる前に、自分の足をアクセルに置いた状態で、近くにいる家族の人などに両手で「ポン」とたたいてもらい、その音を聞いたと同時に足をブレーキに乗せ換えるというもので、これを繰り返して3回行う。このトレーニングを発案した警察庁の長嶋交通安全企画官は、「高齢ドライバーの方に、ぜひ薦めてほしい」という。

特集：高齢者への交通安全教育



広地区老人クラブ連合会の高齢者を対象に交通安全研修会では、本田技研工業(株)安全運転普及本部鈴鹿普及ブロックのインストラクターが指導を担当

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「止まる」という項目では、スクリーン上でイラストを動かしながら、何が描かれているのかを参加者に問いかける。イラストを動かすスピードが速ければ何かわから

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

止まって観るこの重要性を理解してもらおう

ただでなく、歩行者や自転車にも「止まって観る」ということが浸透すれば、事故は防げることが理解できました。自分もさらに気をつけたいと思います。今日は日頃、自分では気づかないことがわかって良かった」と感想を話してくれた。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

知っ得情報

書籍「車社会も超高齢化～心理学で解く近未来」

高齢ドライバー研究を行っている所正文・立正大学心理学部教授の著書「車社会も超高齢化～心理学で解く近未来」(学文社)が発行された。超高齢化を迎えている日本の交通社会と人間社会のあり方を心理学的立場から考察している。



最初は内側が見えない筒の中にボールをころがす。ボールがぶつかる前に、ぬいぐるみを取り上げることはできない(写真上)。次に透明の筒で同じことを行う。ボールの動きがわかれば、ぬいぐるみを取り上げることができる(写真下)

く観ることで、事故に遭わないように気をつけたい」と気を引き締めていた。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。



益城町シルバー人材センターに登録している高齢者等を対象に行われた「交通安全出前講座」

熊本県でのHonda OBによる交通安全普及ボランティア

Hondaを定年退職したOBの方々が各地域で交通安全教育に取り組んでいる。その一人が、熊本県を中心に活動している交通安全普及ボランティア指導員の安岡廣幸さんだ。安岡さんは、「シルバー楽集大学」などHondaの教育プログラムをもとに、熊本県内の交通情勢に合わせてアレ

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

「あやとりい、長寿編」は「正しく歩く」「止まる」「よく観る、聞く」「まっすぐ渡る」を「交通安全に大切な4つのお願ひ」として、その重要性を高齢者にわかりやすく伝えるためのものである。講話だけでなく、動画や実験などを組み合わせて工夫されている点が特長だ。

※4 あやとりい=Hondaが鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。4～5歳児対象の「あやとりい ひよこ編」、小学3～4年生対象の「あやとりい、幼児～小学校高学年対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりい 長寿編」がある。あやとりいは「あんぜんを やさしく とときあかし りかいて いただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/